

**九州地方整備局事業評価監視委員会（平成18年度 第4回）
議 事 概 要 （ 速 報 ）**

日 時 平成19年 2月20日（火）13：30～15：30

場 所 福岡市博多区 （財）福岡県中小企業振興センター 多目的ホール（2階）

出席者

- ・委 員 楠田委員長、明石委員、浅野委員、小野委員、善委員、野見山委員
（欠席：井上委員、実積委員）

- ・整備局 小原 局長、鈴木 副局長、上村 副局長、芦田 企画部長、古賀 建政部長、
森北 河川部長、吉崎 道路部長、森安 営繕部長、山本 用地部長 他

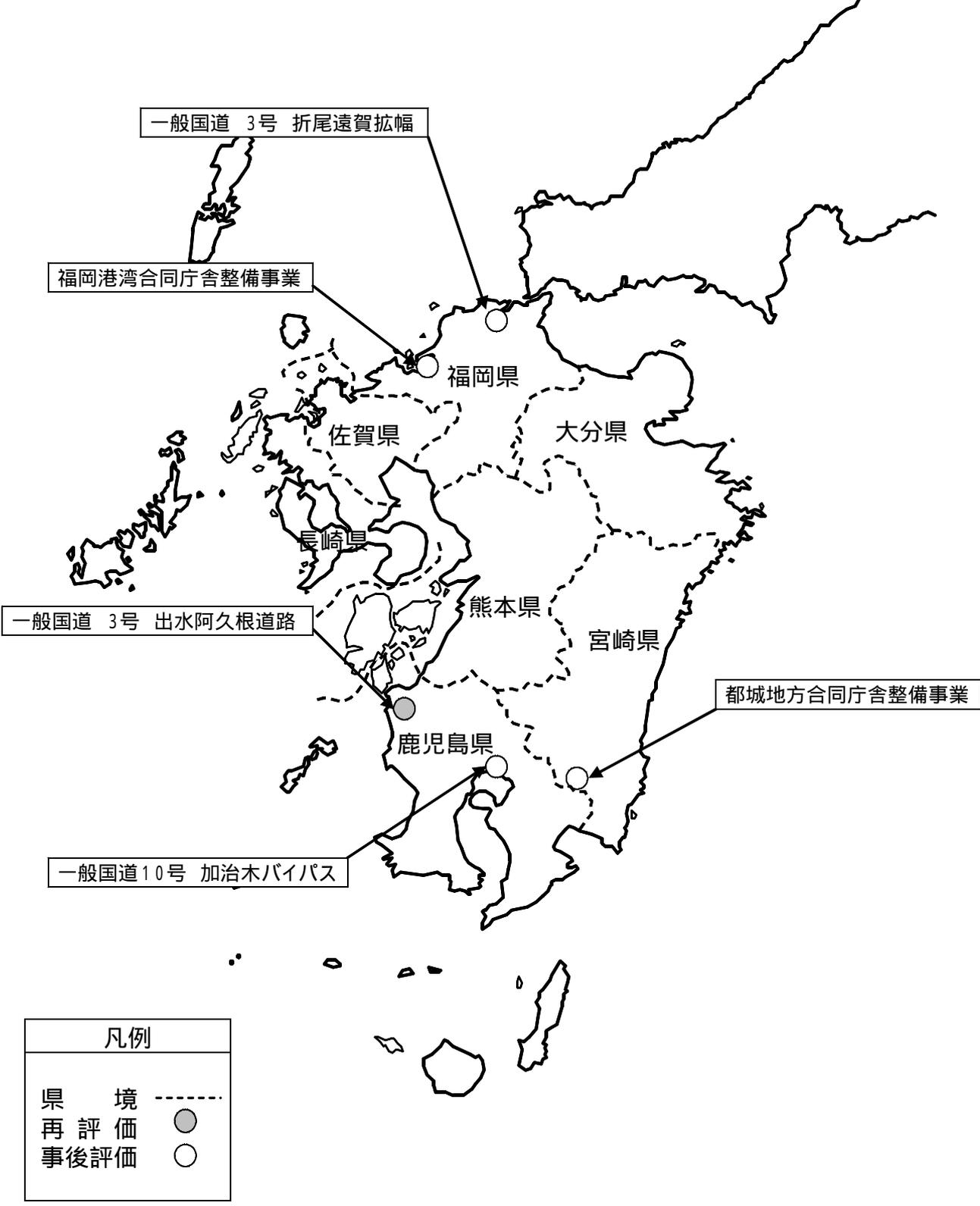
資 料

- ・資 料 - 1 議事次第
- ・資 料 - 2 九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・資 料 - 3 九州地方整備局事業評価監視委員会(平成18年度 第4回)座席表
- ・資 料 - 4 平成18年度第4回委員会 事業再評価（道路1事業）
事後評価 （道路2事業、営繕2事業）

議 事

- 1．開 会
- 2．出席者の紹介
- 3．対象事業の審議
 - 1) 重点審議事業の選定説明
 - 2) 再評価対象事業の説明、審議（道路1事業）
 - ・一般国道 3号 出水阿久根道路
 - 3) 事後評価対象事業の説明、審議（道路2事業、営繕2事業）
 - ・一般国道 3号 折尾遠賀拡幅
 - ・一般国道10号 加治木バイパス
 - ・都城地方合同庁舎整備事業
 - ・福岡港湾合同庁舎整備事業
- 4．閉 会

位置図(再評価・事後評価)



九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿

あかし ひろよし
明石 博義 (社)九州経済連合会 副会長

あさの なおひと
浅野 直人 福岡大学法学部教授

いのうえ のぶあき
井上 信昭 福岡大学工学部教授

おの ゆういち
小野 勇一 九州大学名誉教授(いのちのたび博物館館長)

くすだ てつや
楠田 哲也 北九州市立大学大学院 教授

じつづみ としや
実積 寿也 九州大学大学院経済学研究院助教授

ぜん こうき
善 功企 九州大学大学院工学研究院教授

のみやま みちこ
野見山 ミチ子 NPO直方川づくりの会理事長

印：委員長、 印：副委員長

(五十音順、敬称略)

重点審議事業、要点審議事業の選定

本日の審議事業における重点審議事業、要点審議事業の選定理由について、道路事業の選定委員である井上委員の代理として楠田委員長、営繕事業の選定委員である浅野委員より説明を行った。

選定結果は、以下のとおりとなった。

再評価

【道路事業】

- ・重点審議事業：一般国道 3号 出水阿久根道路

事後評価

【道路事業】

- ・要点審議事業：一般国道 3号 折尾遠賀拡幅
一般国道10号 加治木バイパス

【営繕事業】

- ・重点審議事業：都城地方合同庁舎整備事業
- ・要点審議事業：福岡港湾合同庁舎整備事業

審議結果

1. 事務局より再評価対象事業（道路 1 事業）について説明し、審議を行った。

【一般国道 3号 出水阿久根道路】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

当該地域は、ツルへの影響が懸念されることから、事業の実施にあたっては、地元環境部局と十分調整し、対応していただきたい。

2. 事務局より、事後評価対象事業（道路 2 事業、営繕 2 事業）について説明し、審議を行った。

【一般国道 3号 折尾遠賀拡幅】

【一般国道10号 加治木バイパス】

審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

委員からの主な意見

今回のように事業を暫定供用段階で一旦終了させ、必要になった段階で新規事業化する手法については、他の道路事業においても検討していただきたい。

【道路事業全体に関する意見】

前回評価時との比較内容については、分かりやすく工夫すること。

【都城地方合同庁舎整備事業】

【福岡港湾合同庁舎整備事業】

審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

委員からの主な意見

環境への配慮については、別の項目として排出量削減効果を評価できないか。
全国平均の数値で算出するのではなく、地域の実状に応じてCO₂削減量を比較できないか。

現在のアンケートの設問が分析に向いていないものもあるので、設問方法を、工夫した方がよい。

**九州地方整備局事業評価監視委員会（平成18年度 第4回）
議 事 概 要**

日 時 平成19年 2月20日（火）13：30～15：30

場 所 福岡市博多区 （財）福岡県中小企業振興センター 多目的ホール（2階）

出席者

- ・委 員 楠田委員長、明石委員、浅野委員、小野委員、善委員、野見山委員
（欠席：井上委員、実積委員）

- ・整備局 小原 局長、鈴木 副局長、上村 副局長、芦田 企画部長、古賀 建政部長、
森北 河川部長、吉崎 道路部長、森安 営繕部長、山本 用地部長 他

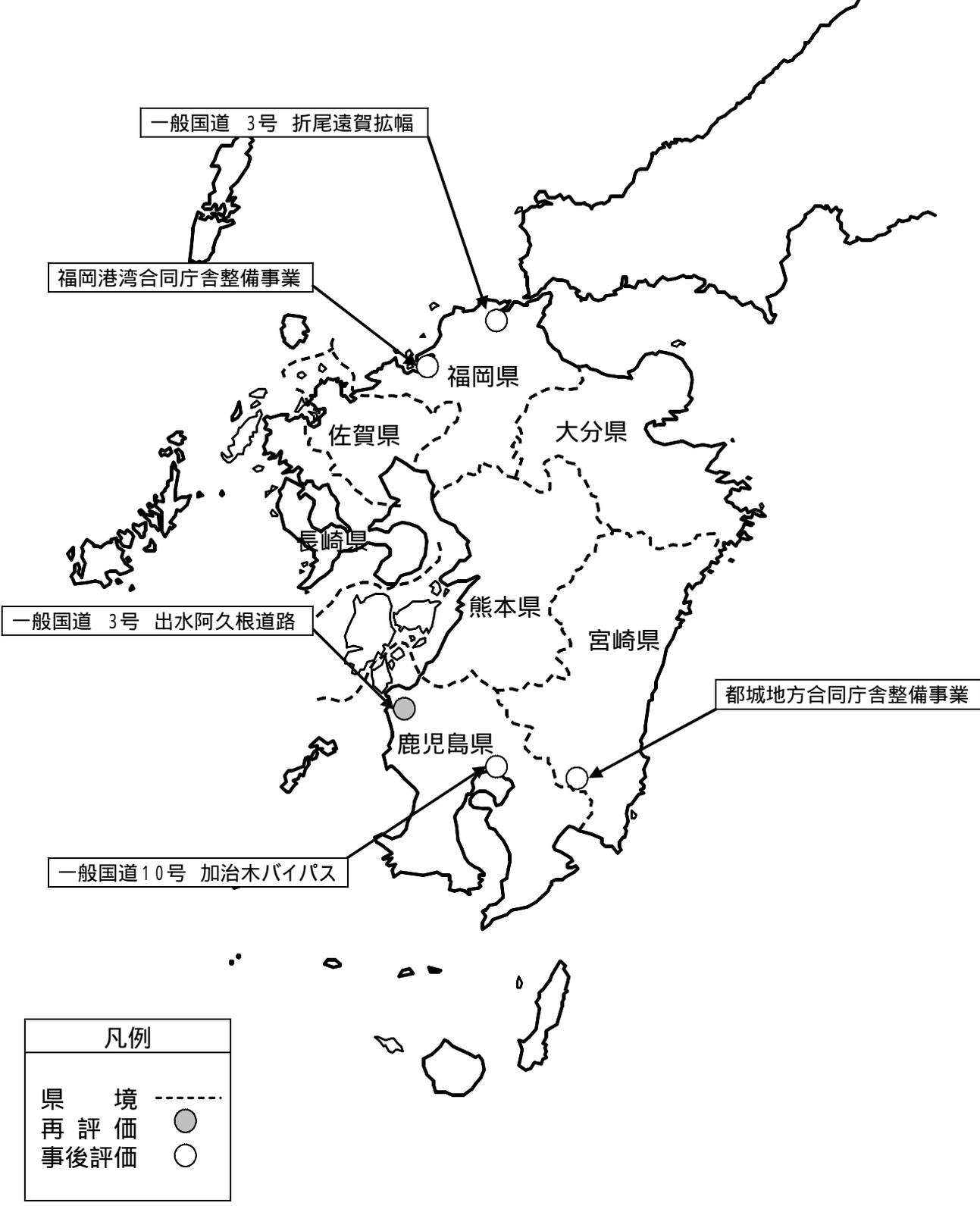
資 料

- ・資 料 - 1 議事次第
- ・資 料 - 2 九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・資 料 - 3 九州地方整備局事業評価監視委員会(平成18年度 第4回)座席表
- ・資 料 - 4 平成18年度第4回委員会 事業再評価（道路1事業）
事後評価 （道路2事業、営繕2事業）

議 事

1. 開 会
2. 出席者の紹介
3. 対象事業の審議
 - 1) 重点審議事業の選定説明
 - 2) 再評価対象事業の説明、審議（道路1事業）
 - ・一般国道 3号 出水阿久根道路
 - 3) 事後評価対象事業の説明、審議（道路2事業、営繕2事業）
 - ・一般国道 3号 折尾遠賀拡幅
 - ・一般国道10号 加治木バイパス
 - ・都城地方合同庁舎整備事業
 - ・福岡港湾合同庁舎整備事業
4. 閉 会

位置図(再評価・事後評価)



九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿

あかし ひろよし
明石 博義 (社)九州経済連合会 副会長

あさの なおひと
浅野 直人 福岡大学法学部教授

いのうえ のぶあき
井上 信昭 福岡大学工学部教授

おの ゆういち
小野 勇一 九州大学名誉教授(いのちのたび博物館館長)

くすだ てつや
楠田 哲也 北九州市立大学大学院 教授

じつづみ としや
実積 寿也 九州大学大学院経済学研究院助教授

ぜん こうき
善 功企 九州大学大学院工学研究院教授

のみやま みちこ
野見山 ミチ子 NPO直方川づくりの会理事長

印：委員長、 印：副委員長

(五十音順、敬称略)

重点審議事業、要点審議事業の選定

本日の審議事業における重点審議事業、要点審議事業の選定理由について、道路事業の選定委員である井上委員の代理として楠田委員長、営繕事業の選定委員である浅野委員より説明を行った。

選定結果は、以下のとおりとなった。

再評価

【道路事業】

- ・重点審議事業：一般国道 3号 出水阿久根道路

事後評価

【道路事業】

- ・要点審議事業：一般国道 3号 折尾遠賀拡幅
一般国道10号 加治木バイパス

【営繕事業】

- ・重点審議事業：都城地方合同庁舎整備事業
- ・要点審議事業：福岡港湾合同庁舎整備事業

審議結果

1. 事務局より再評価対象事業（道路 1 事業）について説明し、審議を行った。

【一般国道 3号 出水阿久根道路】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

当該地域は、ツルへの影響が懸念されることから、事業の実施にあたっては、地元環境部局と十分調整し、対応していただきたい。

主な質疑

インターチェンジの増設に伴って観光客が増加した場合、それらがツルに与える影響について

事務局：環境アセスメントは、通常、土工や構造物等の土地の改変による影響に対して調査・検討を行っているが、アクセス性の向上による観光客の増加が環境へ与える影響については、現在、分析手法が確立されていない。

そのため、引き続き、地元関係機関と協議を行っていきたい。

2. 事務局より、事後評価対象事業（道路 2 事業、営繕 2 事業）について説明し、審議を行った。

【一般国道 3号 折尾遠賀拡幅】

【一般国道10号 加治木バイパス】

審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

委員からの主な意見

今回のように事業を暫定供用段階で一旦終了させ、必要になった段階で新規事業化する手法については、他の道路事業においても検討していただきたい。

主な質疑

（折尾遠賀拡幅）前回評価時との事業費の比較について

事務局：前回評価時では、上下線とも立体化で計画していたが、上り線のみ
の立体化により一定の効果が出ているため、今回、この状態で事業
を一旦終了させている。

そのため、現時点では計画時の事業費よりも少ないが、将来、下り
線も立体化する場合、高架橋の耐震補強が必要になるため、総事業
費としては、若干、計画時の事業費を上回ると考えている。

道路事業全体に関する意見

前回評価時との比較内容については、分かりやすく工夫すること。

【都城地方合同庁舎整備事業】

審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

主な質疑

アンケート結果が芳しくないものに関する対応について

事務局：＜職員の執務環境（快適性、明るさ）＞

快適性については、夏場の空調に関するものが主であり、冷房
の設定温度を下げることで対応している。

また、執務室の明るさについては、基準を満たしているため、
特に対応はしていない。

＜来庁者の利便性（駐車場）＞

駐車場容量の不足については、来庁者の多い、公共職業安定所
で付近の民間駐車場を借り上げることで対応していただいている。

【福岡港湾合同庁舎整備事業】

審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

主な質疑

適切な空調管理（庁舎全体 or フロア毎）について

事務局：官庁施設は、基本的に設備の耐久性等を考えて、庁舎全体での空調管理を行い、その上で、できる限りこまめに空調を管理する方針としている。

しかし、フロア毎に入所官署が違う場合など、フロア毎に空調管理をした方が効率が良い場合もあるので、今後は、ケース毎に最適な条件を考えて対応していく予定。

環境への配慮の貨幣換算化の方法について

事務局：(新庁舎の二酸化炭素排出量 - 旧庁舎二酸化炭素排出量) × 原単位を50年分積み上げて算出している。

営繕事業全体についての意見

環境への配慮については、別の項目として排出量削減効果を評価できないか。全国平均の数値で算出するのではなく、地域の実状に応じてCO2削減量を比較できないか。

現在のアンケートの設問が分析に向いていないものもあるので、設問方法を、工夫した方がよい。